

「奴隷状態からの救い。」

I サムエル 8 章 10～20 節

選挙に3連敗をした自民党が大荒れして石破首相を下ろそうとし、自民党の評判が更に下がっていつてます。他の党も、ポピュリズム（人気取り、一貫した政策がない。）的になっており、日本の政治は今後、流動的になっていくでしょう。世界的にも同様であり、一般大衆の利益が政治を左右することになり、長期的保守的な政策は取れなくなってくるでしょう。財政は破綻しても、将来よりも現在の安楽な生活を求めるからです。

それは神なき社会、信仰のない社会の特徴であり、結婚し子供を産み育てる苦勞よりも、個人の欲求充足が求められ、長生きも望まずに金銭を自分の思うように使いたい人々が多くなってきました。そのような社会では助け合うことができなくなり、家族でさえも疎遠になり、病氣や介護については公共の施設に頼らなければなりません。つまり、お金が掛かるのです。

そして、人々は国や行政に福祉を要請します。至らなさやミスに対して不満や改善を要求して、更に経費が掛かります。ポピュリズムというのは、人々の要求を適えなくてはならないので、将来を潰しても現在に金が掛かるのです。神なき社会は、実は金持ちと若い人を優遇する社会になっていくのです。

その経費を支えるために、税金や保険料を高くし、人員を増やし、経済的に破綻してくるのです。経済的不安や社会的不満を抑えるために、政治指導者は戦争を起こしてきました。歴史は、経済不況の後に、必ず戦争が続くことを示しています。

それは、今日の聖句に警告された社会です。政治指導者は、国民の幸せや福祉よりも争いが好きです。日本人は、人を過大評価する傾向があります。どんな人も罪びとに過ぎないのに、偉人にしてしまうのです。政治指導者も神格化する傾向があります。それは、臣下や一族が、自分たちの指導者や祖先を偉大な者にして誇ろうとするから、人間臭い事実を抹消して良いところばかりを誇張するのです。

そういう偉人志向は、自分の考えや人生観もダメにしていまいます。人間誰しも罪びとであり、優劣はないのに、優劣を競い評価して、人も自分も見下してしまうのです。指導者というのは、そのようにして優秀な者、上位の者への服従・隷属を要求するのです。「あなたがた自身は王

日本人ほど、政府や行政に依存している国民はいないと思います。教育にも、福祉にも、災害対策や社会経済にも、国の関与・指導を期待します。なぜでしょうか。「奴隷」になってしまったからです。自分の判断で生きられない、自分の生活と幸せのために自分の努力を積み重ねることを考えないで、奴隷からの解放を指導者や運によって適えてもらおうと考えているのです。或いは逃亡奴隷になろうとしているのです。祈禱会でピレモンへの手紙を学びました。オネシモは、信仰者になって、自らの逃亡を恥じ、罰を覚悟で主人ピレモンの所へ戻るのです。そして、自由人としての再生を得るのです。

奴隷となった後、「あなたがたが自分たちのために選んだ王のゆえに泣き叫んでも、その日、主はあなたがたに答えはしない。」(8。エペソ2・12)にあるように、サタンは人間を支配し、拘束しているのです。そこから解放されるには、イエス様によって救われるしかないのです。しかし、魂の救いを求めても、立場や考え方の救いを求めているので、多くの人が奴隷状態と変わらない生活なのです。

「あなたがたは、かつては罪の奴隷でしたが、伝えられた教えの規範に心から服従し、罪から解放されて、義の奴隷となりました。」(ロマ6・17.18)。「教えの規範」に従って生きることが必要なのです。

「あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」(ヨハネ8・31.32)とイエス様のことばに感動します。聖書、特に新約聖書を毎日丁寧にイエス様の語り掛けとして丁寧に読み取らなければなりません。

そして、「主は御霊です。そして、主の御霊がおられるところには自由があります。」(IIコリント3・17)とあるように、祈り讃美して、主の御霊に満たされる必要があります。そうするならば、「私たちはみな、覆いを取り除かれた顔に、鏡のように主の栄光を映しつつ、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていきます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。」(同18)

警告しておきます。罪の奴隷のままで神の国に迎え入れられることはありません。この世とその生き方に囚われていてはなりません。

1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

2. 真理と祈りと讃美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讃美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

今週の聖書

I サムエル 8:10 サムエルは、自分に王を求めるこの民に対して、【主】のすべてのことばを話した。

8:11 彼は言った。「あなたがたを治める王の権利はこうだ。あなたがたの息子たちを取り、戦車や軍馬に乗せ、自分の戦車の前を走らせる。

8:12 また、自分のために千人隊の長や五十人隊の長として任命し、自分の耕地を耕させ、自分の刈り入れに従事させ、武具や戦車の部品を作らせる。

8:13 また、あなたがたの娘たちを取り、香料を作る者や料理する者やパンを焼く者とする。

8:14 あなたがたの畑やぶどう畑や良いオリーブ畑を没収し、自分の家来たちに与える。

8:15 あなたがたの穀物とぶどう畑の十分の一を取り、廷臣や家来たちに与える。

8:16 あなたがたの奴隷や女奴隷、それにあなたがたの子牛やろばの最も良いものを取り、自分の仕事をさせる。

8:17 あなたがたの羊の群れの十分の一を取り、あなたがた自身は王の奴隷となる。

8:18 その日、あなたがたが自分たちのために選んだ王のゆえに泣き叫んでも、その日、【主】はあなたがたに答えはしない。」

8:19 しかし民は拒んで、サムエルの言うことを聞こうとしなかった。そして言った。「いや。どうしても、私たちの上には王が必要です。

8:20 そうすれば私たちもまた、ほかのすべての国民のようになり、王が私たちをさばき、私たちの先に立って出陣し、私たちの戦いを戦ってくれるでしょう。」

撒母耳記上 8

10 於是撒母耳把耶和華的一切話，都轉述給那些要求他立王的民眾。

11 他說：「那將要統治你們的王，會用以下的方法統治你們：他將奪走你們的兒子，分配他們作戰車兵和馬兵，奔跑在他的戰車前；

12 又立他們作千夫長、五十夫長，耕作他的土地、收割他的莊稼，為他製造兵器和戰車上的器械。

13 他將奪走你們的女兒作調香師、廚師和烘焙師。

14 他將奪走你們上好的田地、葡萄園和橄欖園，給他的臣僕們。

15 他將收取你們穀物和葡萄園收成的十分之一，給他的內臣和臣僕們。

16 他將帶走你們的男僕和婢女、你們優秀的青年人以及你們的驢子，為他做工。

17 他將收取你們羊群的十分之一，連你們自己也將作他的奴僕。

18 到那日，你們必因自己所選擇的王而哀叫，但那時耶和華不會回應你們。」

19 然而，民眾不肯聽從撒母耳的話，他們說：「不，必須有一個王來統治我們！

20 我們也要像其他國家那樣，有自己的王治理我們，率領我們出征，為我們作戰。」